

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴赤れんがパーク		
指定管理者	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（通称：海の京都DMO）		
設置目的	国の重要文化財であり、舞鶴の歴史的資産でもある赤れんが倉庫群を次世代へ伝えていくため保存・活用し、市民の憩いの場の創出と観光交流人口の増大による地域経済の活性化を図るため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日
所管課	産業振興部観光まちづくり室観光振興課		

2 利用状況等の推移

	令和2年度			
公式来場者数	256,992			
施設利用者数(人)	486,863			
利用料金(円)	4,873,356			
指定管理料(円)	36,386,000			

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
来場者数	900,000人	800,000人	256,992人	32%
観光消費額	170,000千円	140,000千円	107,318千円	77%
稼働率	50.0%	45.0%	47.5%	106%

4 収支状況

収入		支出	
利用料金	5,267,256	人件費	27,876,401
指定管理料	36,386,000	維持管理費	2,070,764
事業収入	85,127,011	事業費	91,795,837
その他	5,485,025	その他	5,661,433
合計	132,265,292	合計	127,404,435
差額			4,860,857

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	来場者数、観光消費額ともに新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言を受けた閉館の影響もあり、目標には届かなかった。一方で観光消費額についてはG O T O キャンペーン等を最大限活用した取り組みを進めた結果、落ち込みを最小限に留める努力がなされていた。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	市と密接な連携を図り将来のビジョンに沿って、現在すべきことを着実に実施している。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	海の京都の観光拠点施設として果たすべき役割を果たしている。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	△	新型コロナウイルスの影響で当初の計画通りに事業展開はできなかったが、仮設店舗やキッチンカーの出店調整に努め、飲食における観光地としての満足度の向上に努力している点で、評価できる。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	従来の利用方法以外の検討を進め、会議での利用促進のためのW i - F i 整備の実施や、利用者に安心して利用してもらえるための体制づくりを進めていた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	◎	利用者・来場者に対し、常に親切丁寧な対応に努める姿勢は評価でき、リピーターも多いため利用者の満足度は高いと考える。

利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	定期的にモニタリングを行い、利用者の意見把握に努めている点で評価できる。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	迅速に苦情対応を行うなど評価できる。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	施設利用の増加に伴い、管理運営経費が増加しているが、節電や、外注などにより経費の節減に努めている。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	様々なケースで複数見積もりを行うなど経費の節減に努めている。
収入増加のための取組が行われたか	◎	自主事業として、収益事業を積極的に取り組み、結果として賑わいづくりと集客に貢献している。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	◎	非常に多くの来訪者への丁寧なサービス水準を維持するため、職員を増員配置した。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	観光案内機能を高めるためにも、職員研修を実施し、能力開発に努めている。
施設の平等な利用が行われたか	○	条例や規則の厳守に努めている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	職員への管理を徹底している。
情報の公開が適切に行われたか	○	透明性のある運営を努めている。
収支状況や会計処理が適切か	○	専用システムを導入するなど適切に処理している。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	職員連絡網やマニュアルを作るなど、万一の場合に備える体制づくりができている点は評価できる。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われている。
(5) その他コメント		
サービス向上	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新たな観光の形の模索が求められているなか、コロナ禍でも利用者が安心して施設を使用できるような体制づくりに加え、これまで以上に利用者同士の干渉や、観光客の動線確保など、赤れんがパーク全体を俯瞰しながら、イベントコントロールを行っていることは高く評価できる。	
経費削減	施設利用の増加に伴い、消費電力は増加しているが、空調設定温度の適正化、照明の小まめな消灯など、施設サービスの水準を維持しながら経費削減している点は高く評価できる。	
施設の維持・管理	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、来場者数は前年度から激減し業務内容にも変化があったものの、大きな事故もなく、円滑に管理運営いただいたことを高く評価したい。 引き続き、行政とのよりよいパートナーシップのもと、スタッフの熱意と創意工夫により、舞鶴観光の拠点を担う指定管理者としてさらなるサービス向上に努められたい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	4点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5:良い、4:やや良い、3:普通、2:やや悪い、1:悪い
総評	<p>コロナ禍で利用人数が減少している中、黒字維持は評価できる。</p> <p>施設としてよく管理されており、高く評価できる。</p> <p>工夫されている様子がみえるが、観光施設なので運営が大変だと思う。</p> <p>新型コロナウイルスの影響が大きいことやむを得ないが、努力を続けてほしい。</p>	

《参考》 過年度の評価点

年度	年度	年度	年度	平均